

# 12月4日から10日は、「人権週間」です！



人権週間は、家庭で、職場で、学校で、家族と、友達と、みんなと、人権を考える1週間です。男女差別、障害者差別、外国人差別、部落差別など、あらゆる差別や偏見をなくし、みんなが明るく暮らせる社会を作りたいものです。そのためには、私たち一人ひとりが、人権について正しく理解し、周りの人の人権を尊重する意識を持つことがとても大切です。今一度、身近なことから人権を考えてみませんか。

## こんにちは。人権擁護委員です。

私たちは、日々の生活の中で皆さんの人権に関わる悩みをお伺いしたり、解決に向けてのアドバイスをするなど、皆さんの一番身近な相談相手として活動しています。

差別や人権等でお悩みの方は、一人で悩まず、人権擁護委員にお気軽にご相談ください(右表参照)。相談は無料で秘密は厳守されます。また、毎月人権擁護委員による人権相談所も開設しておりますのでお気軽にお越しください。

## 特設人権なんでも相談所開設

あらゆる差別問題や家庭内、職場内、隣近所での問題などについての相談に応じます。相談は無料で秘密は厳守します。お気軽にご相談ください。

- ▼日時 12月4日(金) 13時～16時
- ▼場所 市役所本庁相談室、マキノ支所小会議室  
今津老人福祉センター、朽木支所1階相談室  
安曇川ふれあいセンター、アイリッシュパーク
- ▼対象者 一般(どなたでも)

☎人権施策課 ☎(25)8524

## 《ここでも相談を受けています》

- ・ 大津地方法務局人権擁護課 ☎077(522)4673
- ・ 子どもの人権110番 ☎0120(007)110
- ・ 女性の人権ホットライン ☎0570(070)810

## みんなのこころ元気になあれ！ 第61回人権週間 人権クイズ2009

さて、ここで問題です。

12月4日から  
10日の1週間は  
「〇〇週間です」

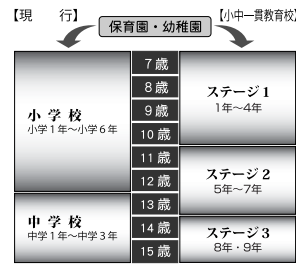
〇〇に当てはまる文字を  
お答えください。

## 応募の方法

ハガキに答えと、郵便番号、住所、氏名、年齢(差し支えない方のみ)、ご意見をご記入の上、平成21年12月11日(金)(必着)までに次のところへ送付してください。正解者の中から抽選で50名様に記念品を贈呈いたします。なお、当選者の発表は記念品の発送をもって代えさせていただきます。

〒520-8516  
大津市御陵町3番6号  
大津地方法務局・滋賀県人権擁護委員連合会  
「人権クイズ」係  
また、メール(FJP16020@nifty.com)での応募も可能です。

※ご応募の際にご記入いただいたお名前、ご住所、ご連絡先等は、記念品をお届けするため、また、お届けに必要な情報の確認等のために利用し、そのほかの目的では利用しません。



これらの取り組みの成果として、一貫したカリキュラム

- ① 総合的な学習の時間や、道徳、学校行事や学級活動などの特別活動を統合した「未来の時間」を設け、9年間の連続した系統的な指導の実施。
- ② 小学校6年と中学校3年で区切らず、9年間の連続した指導になるよう4年・3年・2年をグループとするステージ制の導入。
- ③ ステージ制による小学生と中学生の多様な交流活動の展開。
- ④ 小中学校教員の兼務による交流授業の実施。

## 高島小学校・高島中学校 小中一貫教育校説明会開催

9月30日に、高島公民館カリアーホールで、平成22年4月開校に向けて、保護者や地域の皆さんに対する説明会を開催しました。高橋教育長のあいさつに続いて、高島小中学校の一貫教育で進められてきた、次の四つの研究内容について説明しました。

により、学習内容とステージごとに身につけさせたい力を、9年間見通して整理できたことや、小中学校の交流活動により、教員の交流が進み、指導方法の違いや児童生徒の発達の違いについて、教員の理解が深まったこと。また、今後の課題として、小中のつながりを充実させていくために、学校が、保護者や地域と一層連携を強くしていくことについて報告しました。



その後、参会者との質疑応答を行いました。卒業生や保護者から、「4・3・2によるステージ制について」「高島地域以外の学校での一貫教育の進め方について」「一貫教育校の開校にともなう課題への対応について」、さらに、学校名や学年の呼び方等、開校後の具体的な姿について質問がありました。これらの質問に、教育委員会と学校が基本的な考え方を次のように説明しました。

## 高島小中学校文部科学省指定 小中一貫教育研究報告発表会開催

高島小中学校では、10月30日に研究報告発表会を開催し、県内外の教育関係者100人の他に、保護者や地域住民に対して、2年半の取り組みを報告しました。記念講演では、早稲田大学大学院教職研究科の田中博之教授から、高島小中学校の実践について、児童生徒の単なる合同行事に止めず、今の子ども



「学習したことを活用する力」いわゆる総合学力を明確にした研究であった点について、高い評価をいただきました。また、参加者からは、更なる充実を期待する意見もあり、この2年半の研究を生かすべく、平成22年4月の小中一貫教育校開校へ向け大きな弾みとなりました。☎(30)4471 図学校教育課

明しました。① 子どもの成長が早まっていることから、4・3・2制により、子どもの成長の区切りに合わせて、小中の交流や教科担任制等を充実させ、心理的な不安感や学び方の特性を考慮した教育活動を行う。② 高島地域以外の他の地域には、高島小中学校のように隣り合った立地条件がないので、高島小中学校のような一貫教育校の形態にせず、小中学校の先生が協力しながらつなぐりを持たせることにより、小中9年間の成長を支えていけるよ

うな中学校区ごとの小中一貫教育実践校を進める。③ 学校名は、そのまま継続させるが、一貫教育校としての一体感を持たせる観点から、1年生から9年生までという呼び方にする。6・3制の学校教育の枠であることから、対外的な場面では、中1・中2・中3というよ

